

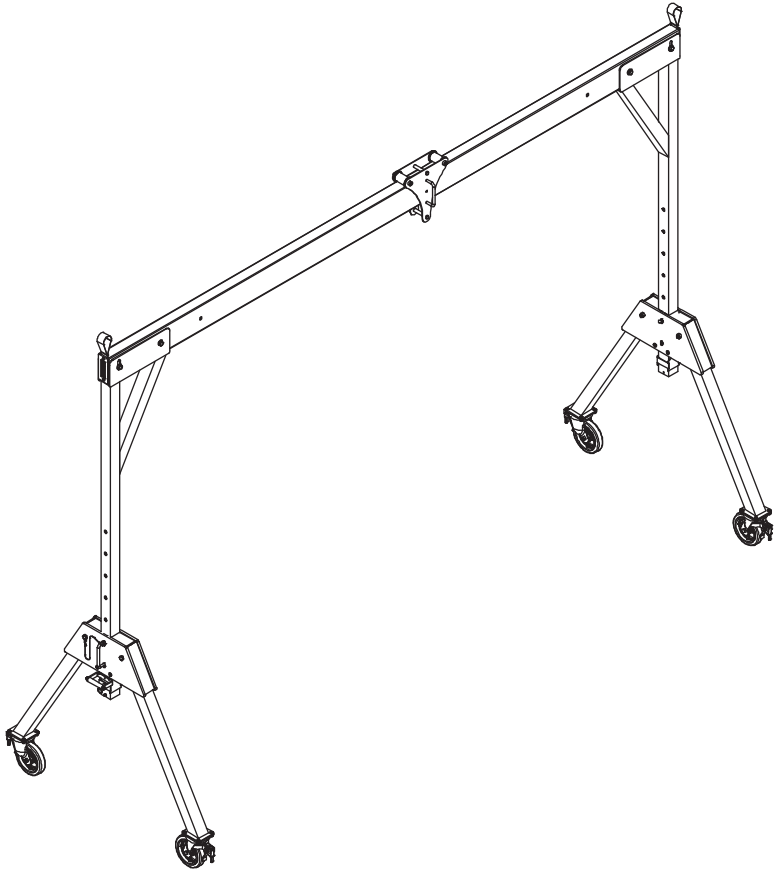
# Asada

環境を守る親切ツール

アルミ製門型リフター

# ガントリー

## 取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

# ガントリー

## 安全にご使用いただくために




このたびは、ガントリーをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。  
(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

## 警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。

-  **危険** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。
-  **警告** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。
-  **注意** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

## 目次

安全上のご注意 .....	2	分解 .....	15
製品の構成 .....	4	ビームを外す .....	15
標準付属品 .....	4	保守・点検 .....	17
仕様 .....	5	作業前点検 .....	17
準備 .....	6	半年点検 .....	17
フレームの組立 .....	6		
フレームとビームの組立 .....	7		
ビームの長さ調整 .....	10		
落下防止ストッパの取付け (任意) .....	11		
使用方法 .....	12		
高さを変える .....	12		
移動 .....	13		
荷の吊り上げ .....	14		

## 安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。

### ⚠ 危険

- ◆ **最大積載荷重以上の荷を吊り上げないでください。**  
けが・故障の恐れがあります。  
最大積載荷重は、チェンブロックなどの巻上機、荷物を含む吊り上げ荷重です。
- ◆ **本機を人間の運搬用など、使用用途以外の用途には使用しないでください。**  
けが・故障の恐れがあります。
- ◆ **使用するチェンブロックの取扱説明書もよく読んでから使用ください。**  
使用するチェンブロックによって法的義務が発生し、有資格者もしくは届出が必要になる場合があります。
- ◆ **吊り上げ時、吊り荷を揺らしたり、吊り荷に乗ったりしないでください。**  
破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ **分解・改造は絶対に行わないでください。**  
けが・故障の恐れがあります。
- ◆ **柔らかい地面や傾斜面では使用しないでください。**  
破損・転倒の恐れがあります。  
砂や砂利等の不安定な場所は、本体が不安定となり荷物の落下や転倒により故障やけがの恐れがあります。
- ◆ **斜面、穴、凹凸、破片、滑りやすい地面や床面などでの使用はしないでください。**  
破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ **作業中、ビームの下、吊り荷の下には入らないでください。**  
けが・故障の恐れがあります。
- ◆ **ボルトやナットが緩んでいないか、使用前に確実に確認してください。**  
使用中に破損、転倒の恐れがあります。
- ◆ **組み立てたガントリーをフォークリフトやクレーンで持ち上げたり、移動させないでください。**  
破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ **結果の予測ができない、または確信の持てない取り扱いを行わないでください。**  
けが・故障の恐れがあります。
- ◆ **維持管理のために、点検基準に基づいて、各部の点検を行ってください。**  
※「P17 保守・点検」参照
- ◆ **本機は単体でご使用ください。**  
複数台でのご使用は本機の転倒・破損、けがや事故の恐れがあります。

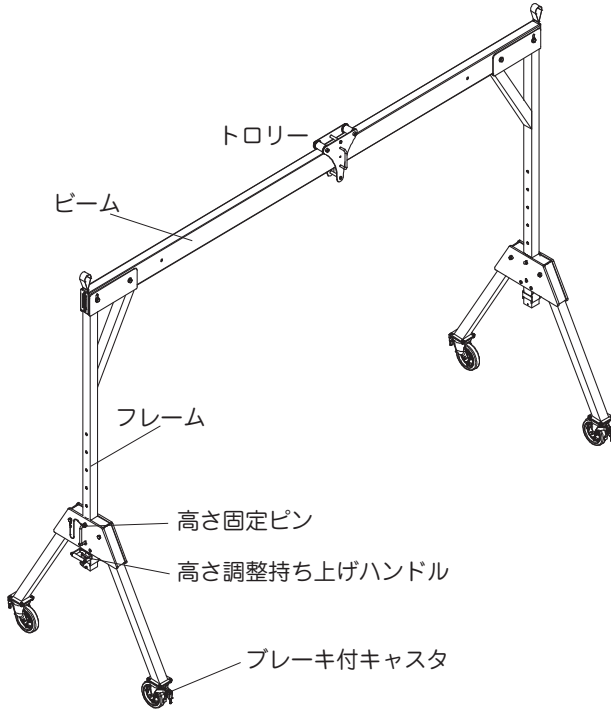
# ガントリー

## ⚠ 警告

- ◆ 適切な保護具（ヘルメット、手袋、安全靴など）を着用してください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 本機を落としたり、ぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがないか点検してください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には十分注意して、絶対に触らせないでください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 体調が万全でないときは、操作しないでください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 本機を使用しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所に保管してください。  
感電の恐れがあります。
- ◆ 荷を吊り上げた状態で本機から離れないでください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 作業場所は整理・整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ◆ 荷の重心が偏らないようにしてください。  
けが・転倒の恐れがあります。

## 製品の構成

### 各部の名称



### 標準付属品

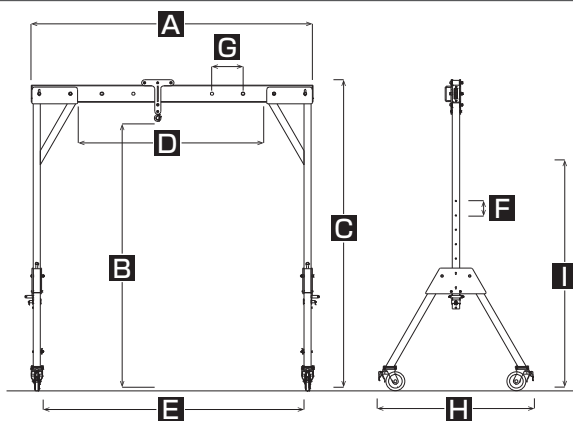
品名	ガントリー0.75t		ガントリー2t	
	コードNo.	数量	コードNo.	数量
フレーム、トロリー組	S785400S	1	S785065	1
トロリー ※ 1	S785600	1	S785160	1
ボルト ※ 1	S771092	4	S771143	4
ワッシャ ※ 1	S773094	8	S773052	8
ナイロンナット ※ 1	S772357	4	S772503	4
落下防止ストoppa ※ 1	S785190	2	S785190	2
取扱説明書	IM0432	1	IM0432	1
ビーム 2.4m ※ 2	S785323	1	S785076	1
ビーム 3m ※ 2	S785325	1	S785070	1
ビーム 4m ※ 2	S785326	1	S785071	1
ビーム 5m ※ 2	S785327	1	S785072	1

※ 1：各部品は、フレーム、トロリー組に含まれています。

※ 2：ビームはサイズにより 1 本付属されます。

# ガントリー

## 仕様



品名	ガントリー 0.75t			
コード No.	S785307	S785311	S785313	S785315
最大積載荷重(※)	0.75t			
A ビーム長さ	2.4m	3m	4m	5m
B 最低 / 最高高さ	219 ~ 295cm			
C 最高高さ	251 ~ 327cm (5段階 / トロリー : H32cm)			
D トロリー移動範囲	178cm	234cm	334cm	434cm
E 最大横幅(車輪内幅)	220cm	280cm	380cm	480cm
F 高さ調整間隔	15.2cm			
G ビーム調整間隔	無し	33cm 1ヶ所	33cm 1ヶ所	33cm 2ヶ所
H 開脚外幅	154cm			
I 収納時高さ	254cm			
本体質量	107.9kg	111.1kg	117.0kg	122.9kg
ビーム質量	14.5kg	17.7kg	23.6kg	29.5kg

品名	ガントリー 2t			
コード No.	S785103	S785093	S785094	S785095
最大積載荷重(※)	2t			
A ビーム長さ	2.4m	3m	4m	5m
B 最低 / 最高 高さ	214 ~ 290cm			
C 最高高さ	250 ~ 326cm (5段階 / トロリー : H32cm)			
D トロリー移動範囲	147cm	203cm	303cm	403cm
E 最大横幅(車輪内幅)	220cm	280cm	380cm	480cm
F 高さ調整間隔	15.2cm			
G ビーム調整間隔	無し	33cm 1ヶ所	33cm 1ヶ所	33cm 2ヶ所
H 開脚外幅	154cm			
I 収納時高さ	254cm			
本体質量	131.1kg	133.8kg	142.0kg	150.0kg
ビーム質量	21.6kg	24.3kg	32.4kg	40.6kg

※ 最大積載荷重は、チェンブロックなどの巻上機、荷物を含む吊り上げ荷重です。

## 準備

### フレームの組立

- ① フレームを床に置いてください。
- ② フレーム中央の赤いボタンを押しながら脚を開いてください。

ボタンを押して脚を広げる時に指を挟まないように気をつけてください。

指挟み防止のため、硬い棒等でボタンを押すことを推奨します。(図 1)

- ③ 脚が開ききったら、ボタンが戻ります。

脚が確実に固定されていることを確認してください。(図 2)

- ④ 全てのキャストにブレーキが付いています。

ブレーキレバーを下げるとブレーキがかかり、レバーを上げるとブレーキが外れます。(図 3)

- ⑤ キャスタの方向を 90° 毎に固定ができます。
- キャスト上部のリングを引くと方向が自在になります。(図 4)

※ P13 [左右回転・方向変更] 参照

- ⑥ フレームの先端を持ってフレームを移動することができます。(図 5)

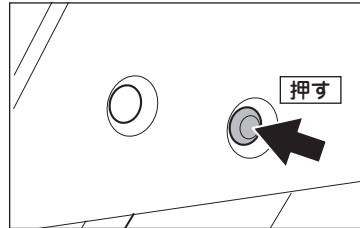


図1

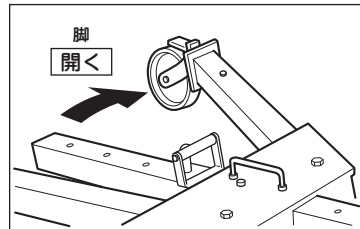


図2

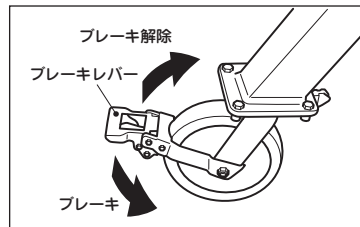


図3

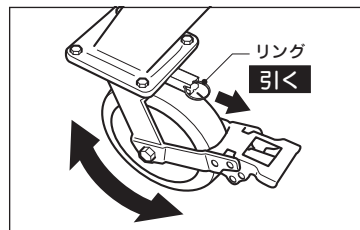


図4

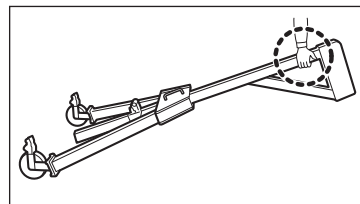


図5

# ガントリー

## フレームとビームの組立

### ⚠ 危険

- ◆ 必ず二人以上で組立を行ってください。
- ◆ 周囲に物を置いたり、組立作業者以外を近づけないでください。  
組立時、転倒する恐れがあります。
- ◆ 本機を組み立てる際はトロリーのノブを締めて固定してください。  
トロリーを固定しないで組立を行うとトロリーが動いて落下し、怪我をする恐れがあります。

- ① ビームにトロリーを入れてビームの真ん中に置き、トロリーのノブを締めて、固定してください。(図6)

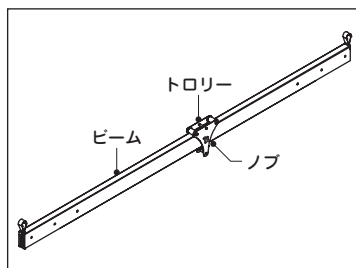


図6

- ② フレームとビームを図7の様に置いてください。

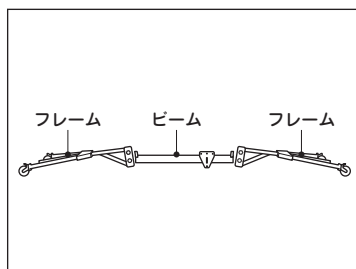


図7

- ③ ビームの片側を持ち上げて、フレームの上部側の穴とビームの外側の穴を合わせ、ビームのボルトとナットで仮締めしてください。(図8)

同じように反対側のフレームとビームをボルトとナットで仮締めしてください。

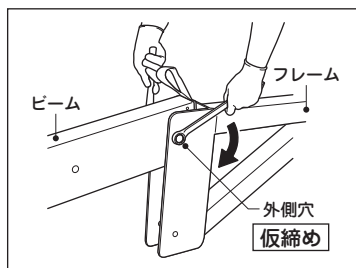


図8



- ④ 片側のキャスタにブレーキをかけ、もう片側のフレームを二人でキャスタを転がしながら起こして、フレーム内側の穴とビームにボルトとナットで仮締めしてブレーキをかけてください。(図9)

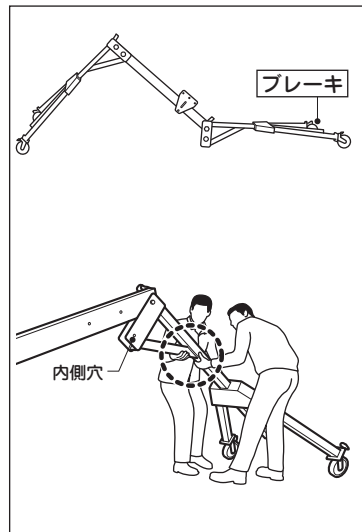


図9

## 警告

- ◆ フレームを起こす時は、必ずフレームを持ってください。  
ビームは絶対に持たないでください。

ケガをする恐れがあります。

- ⑤ 起こした側のフレームのキャスタのブレーキをかけ、反対側のフレームもキャスタを転がしながら起こしてキャスタのブレーキをかけてください。  
その後、ボルトとナットで仮締めしてください。(図10)

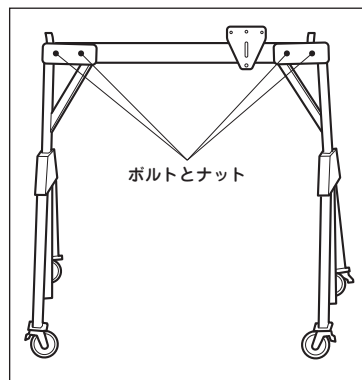


図10

# ガントリー

- ⑥ フレームの垂直、ビームの水平を確認して、ボルトとナットでビームを固定してください。(図 11)

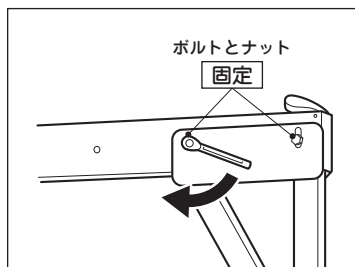


図 11

## ビームの長さ調整

- 3m、4m、5m ビームはビームの長さ（フレームの幅）を変えることができます。
- ビームの長さを変える時は、必ず二人以上で行ってください。

- ① 組立てた状態で、片側のフレームのボルトとナット2本を外してください。（図 12）
- ② キャスタのブレーキを外し、フレームを倒さないように、フレームをビームに沿って、ゆっくりビームの穴の位置まで押してください。

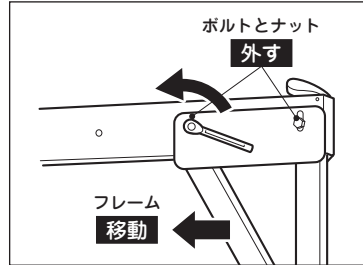


図12

- ③ キャスタのブレーキをかけ、ボルトとナットでフレームとビームを固定してください。（図 13）
- ④ 本機の分解時は、ビームは一番外側に戻してから分解してください。

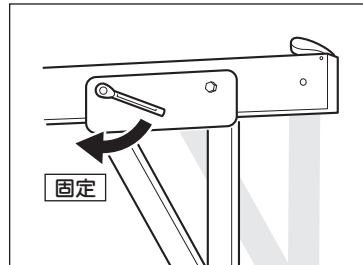


図13

# ガントリー

## 落下防止ストップの取付（任意）

- 落下防止ストップを付けることにより、ガントリーの高さ調整時等、不意にフレームが落下した場合にフレーム下部が当たるのを防止します。
- 簡易装置ですので、ストップを過信せず、安全に作業を行ってください。
- 落下防止ストップを取付けた場合、ガントリーの最低高さが1段階(32cm)高くなります。

- ① 羽を畳んだ状態でフレームの高さ調整穴の最上段に差し込んでください。
- ② 反対側の穴から、ドライバもしくは棒状のものを差し込んで、羽が回転しない様にして、ネジをしっかりと締めてください。
- ③ 取り外す場合は、反対側の穴からドライバ等を差し込み、羽を回転しない様にして、ネジを緩めて、羽をネジから外してください。

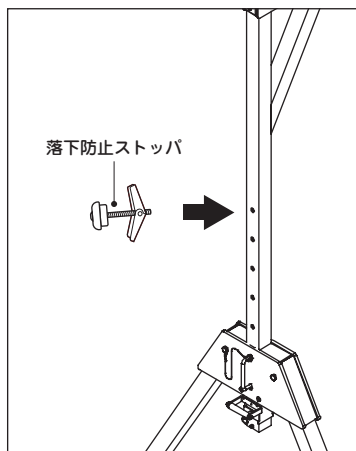


図14

## 使用方法

### 高さを変える

#### ⚠ 危険

- ◆ 吊り荷を付けた状態で高さを変えないでください。  
転倒する可能性があります。  
また、チェンブロックも外して高さの変更をすることを推奨します。
- ◆ 高さは左右交互に1段ずつ変えてください。
- ◆ 斜面など傾斜の場所で高さの変更を行わないでください。  
本機のバランスを崩して、転倒する恐れがあります。

① トロリーをビームの真ん中に置き、ノブを締めて固定してください。

② 高さ調整持ち上げハンドルの位置を決めてください。(図 15)

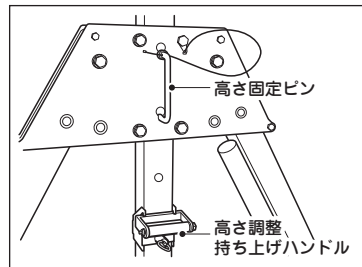


図15

③ ハンドルを持ち上げて、高さ固定ピンを抜いてください。(図 16)

④ ハンドルをさらに持ち上げて、1穴分高くするか、ハンドルを下げて1穴分下げてください。

高さ調整は、ゆっくりと行ってください。(図 16)

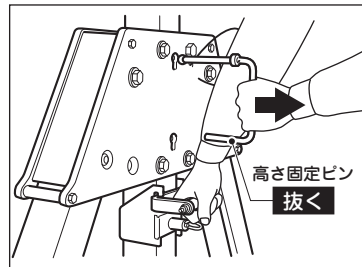


図16

⑤ 固定ピンを奥までしっかり差し込んで、高さを固定してください。

ピンを確実に入れるまで、ハンドルを持ってフレームを保持してください。(図 17)

⑥ 左右交互に1穴ずつ高さを調整してください。

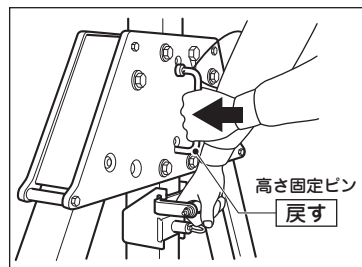


図17

# ガントリー

## 移動

### ⚠ 危険

- ◆ 吊り荷を付けた状態でキャストで本機を移動させないでください。  
転倒・破損する恐れがあります。
- ◆ 本機から離れる時や使用しない時は、必ず4つ全てのブレーキをかけてください。

### ⚠ 注意

- ◆ キャスタを左右に回転する場合は、必ずリングを縦溝に入れた状態で使用してください。  
リングを縦溝に入れない状態で回転するとキャストのグリスニップルが破損します。  
リングは縦溝に入れた後、左右回転させてください。
- ◆ キャスタの方向変更後は必ずリングを横溝に戻してキャストをロックしてください。  
キャスト方向をロックしないと、不意に動いて危険です。

### [ ブレーキ・解除 ]

- ① トロリーをビームの真ん中に置き、ノブを締めて固定してください。
- ② キャスタのブレーキレバーを下げると、キャストにブレーキがかかり、レバーを上げるとブレーキが解除されます。(図18)

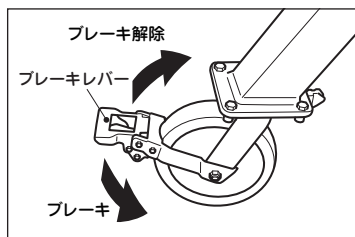


図18

### [ 左右回転・方向変更 ]

- ① キャスタ上部のリングを引いてロックピンを解除します。(図19)
- ② リングを90°回転して縦溝にリングを固定します。

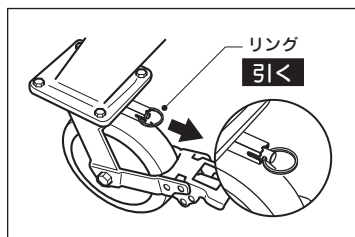


図19

キャストが左右に回転します。  
(図20)

- ③ キャスタの方向をロックピンの収まる位置(90°毎)に調整し、リングを引き縦溝から横溝へリングを戻してキャストの方向をロックします。(図19)

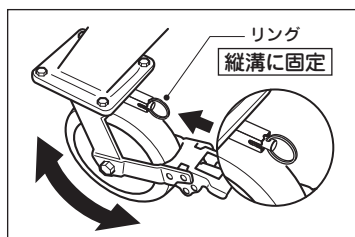


図20

## 荷の吊り上げ

### ⚠ 危険

- ◆ **最大荷重以上をつり上げないでください。**  
最大積載量は、チェンブロックなどの巻上機、荷物を含む吊り上げ荷重です。
- ◆ **吊り荷を上げた状態でキャストで本機を移動させないでください。**  
転倒・破損する恐れがあります。
- ◆ **吊り荷を揺らさないでください。**
- ◆ **吊り荷を上げている時はキャストにブレーキをかけ、キャストの方向もロックしてください。**
- ◆ **使用するチェンブロックの取扱説明書もよく読んでから使用してください。**  
使用するチェンブロックによって法的義務が発生し、有資格者もしくは届出が必要になる場合があります。  
吊り荷を上げた状態でトロリーを移動する場合は、使用するチェンブロックの取扱説明書に沿って作業してください。
- ◆ **本機は単体でご使用ください。**  
複数台でのご使用は本機の転倒・破損、けがや事故の恐れがあります。

- ① チェンブロックをトロリーに接続してください。  
使用するチェンブロックの取扱説明書も良く読んでから使用してください。
- ② 吊り荷の重心がチェンブロックの真下になるように、吊り荷をチェンブロックに固定してください。  
重心がずれていると本機が転倒・破損する恐れがあります。
- ③ 吊り荷の重心を安定させながら、ゆっくりと持ち上げてください。

# ガントリー

## 分解

### ビームを外す

#### ⚠ 危険

◆ 必ず二人以上で分解作業を行ってください。

一人では行わないでください。

◆ 分解時、転倒する危険があります。

周囲に物を置いたり、組立作業員以外を近づけないでください。

- ① トロリーを動かない様にノブを締めて固定してください。
- ② 4つのキャストをビームと平行に、またブレーキを外側になるようにキャストの方向をロックしてください。

③ 4つのキャストにブレーキをかけてください。(図21)

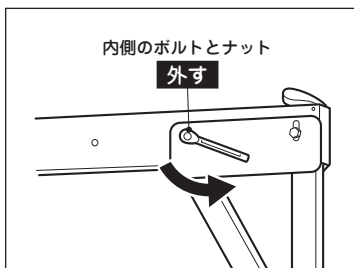


図21

④ 片側のフレームの内側のナットを外して、ボルトを抜いてください。

⑤ ナットを外した側のフレームを支えながらキャストのブレーキを外してください。

⑥ 二人でフレームを支えながら、ゆっくりとフレームを倒して、床に置いてください。(図22)

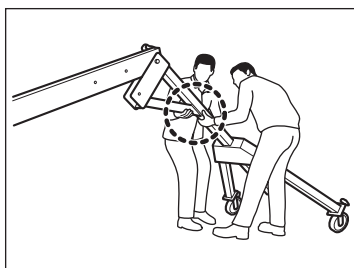


図22

この時、ビームは持たないでください。必ず、フレームを持って倒してください。

⑦ 反対側のフレームの内側のナットを外して、ボルトを抜いてください。

この時、フレームが倒れないようにフレームを支えてください。



- ⑧ ブレーキを外して、ゆっくりとフレームを倒して、床に置いてください。  
(図 23)

- ⑨ フレームの外側のナットとボルトを外して、トロリをビームから抜いてください。

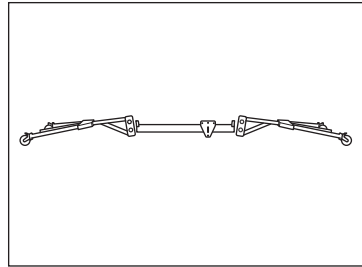


図23

- ⑩ フレーム中央の赤いボタンを押しながら、脚を閉じます。

ボタンを押す際に指を挟まないように気をつけてください。

指挟み防止のため、硬い棒等でボタンを押すことを推奨します。

(図 24)

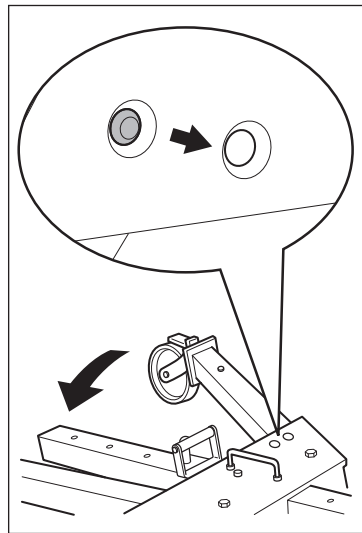


図24

# ガントリー

## 保守・点検

### ⚠ 危険

- ◆ 改造は絶対に行わないでください。
- ◆ 摩耗、消耗した部品は弊社純正部品と交換してください。  
本機が破損したり、怪我を負う恐れがあります。

### 作業前点検

- 作業前に毎回点検し、異常がないことを確認してから作業してください。
- ① ボルト・ナットが緩んでいないか確認してください。
  - ② キャスタのプレーキロックが効いているか確認してください。
  - ③ トロリ等、各可動部が正常に動作すること確認してください。
  - ④ 高さ調整ピンが変形・破損していないことを確認してください。  
使用中は、ピンが確実に奥まで刺さっていることを確認してください。

### 半年点検

- 以下を半年に1回以上の頻度で点検を行い、異常がある場合は、修理してから使用してください。
- ① ビーム、脚、キャスタなど変形がないか確認してください。
  - ② 溶接部に割れなど異常がないか確認してください。



## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :  
購入年月日:       年       月       日  
お買い求めの販売店

# Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バンコク)  
台湾浅田股份有限公司 (台北)  
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)  
アサダ・インド社 (ムンバイ)  
上海浅田進出口有限公司 (上海)  
アサダ USA (オレゴン州・ユージン)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)  
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)  
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

[www.asada.co.jp](http://www.asada.co.jp)

Ver.05 コード No. IM0432 A